

## 【別紙 2】

### 審査の結果の要旨

氏名 <sup>ジエイリン</sup> Jie Lin

本研究は、Cdk6-cyclin D3 複合体が、

- 1) 他の D 型サイクリンとパートナーキナーゼとの組み合わせのうち、極めてユニークな性質を持ち、p27 や p21 キナーゼ阻害タンパクによる不活化を受けないこと、
- 2) その性質によって、増殖抑制状況下で細胞の増殖能を制御する役割を果たしていること、
- 3) 少なくとも一部の繊維芽細胞では Cdk6 が増殖因子による誘導を受け、当複合体が増殖開始時の初発制御因子として働いていること、

を明らかにした。

その後、関連実験の共著者によって、この複合体を高発現させると紫外線や化学物質による発癌の頻度が飛躍的に上昇することが明らかとなった。

この発見によって、本研究は、これまで未知の部分であった増殖抑制化の細胞の G1-S 期遷移制御機構の解明に重要な突破口を開くと共に、ヒトの多段階発癌機構の一端の解明にも重要な手掛かりを得られるものと期待され、学位の授与に値すると考えられる。